

大間原子力発電所に関する津波堆積物調査の実施について

平成24年11月21日

電源開発株式会社

当社は、今般、大間原子力発電所に関する津波堆積物調査を実施することとしましたので、お知らせいたします。

この調査は、国内における津波に関する最新の調査研究の動向等を踏まえた自主的な取組みとして、大間原子力発電所におけるデータを充実させることを目的としております。

今回実施する津波堆積物調査では、大間原子力発電所周辺及び津軽半島の日本海側において、ボーリング及び露頭剥ぎ取りによる試料の採取、分析並びに評価を実施することとしており、今後、準備が整い次第開始する予定としています。

当社は、大間原子力発電所の耐震安全性に関し、今後も情報を収集するとともに、必要に応じて最新の技術・手法を用いた調査等によるデータの充実を図り、信頼性の一層の向上に努めてまいります。

以上

【添付資料】

- ・ 大間原子力発電所に関する津波堆積物調査の概要について

大間原子力発電所に関する津波堆積物調査の概要について

(添付資料)

(1) 調査目的

大間原子力発電所に係る津波に関するデータを充実させることを目的として、津波堆積物調査を実施します。

(2) 調査内容

- ・ボーリング^{※1)}及び露頭剥ぎ取り^{※2)}による試料採取 (図-1 参照)
- ・試料の観察、分析による津波堆積物の有無、年代及び分布の把握

※1) ボーリングは、地中部を機械により円筒状に抜き取ります。

※2) 露頭剥ぎ取りは、露出している崖の表面部を器具等により剥ぎ取ります。

(3) 調査予定地点

ボーリング調査地点としては、海岸沿いに浜堤が形成され、その背後の比較的低標高の平地に存在する堆積環境の穏やかな湖沼や湿地などを選定しました。(図-2 参照)

また、露頭剥ぎ取り調査地点としては、海岸沿いの比較的低標高の崖に、津波により打ち上げられた礫が堆積している可能性のある場所を選定しました。

調査は、図-3に示す調査予定地点にて、ボーリングは1箇所当たり数本から10数本程度、露頭剥ぎ取りは1箇所当たり数m×数m程度を予定しています。

○ボーリング調査： 6地点

- ・大間平地点 2箇所 (大間町)
- ・奥戸川地点 1箇所 (大間町)
- ・五月女菟他地点 数箇所 (五所川原市)
- ・前湯～明神沼地点 数箇所 (五所川原市)
- ・鳴沢川地点 1箇所 (鯉ヶ沢町)
- ・赤石川地点 1箇所 (鯉ヶ沢町)

○露頭剥ぎ取り調査： 8地点

- ・大間平地点～材木 1～数箇所/地点 (大間町) 地点の7地点
- ・佐助川地点 1箇所 (むつ市大畑町)

なお、調査の状況に応じて、調査地点等は変わる場合があります。

(4) 現地調査時期

今後、関係機関及び地権者と必要な調整、手続きを行い、準備が整った地点より調査を開始し、平成25年春頃までを予定しています。

なお、準備及び調査の状況に応じて、調査時期は変わる場合があります。



図-1-1 ボーリング(陸上)



図-1-2 ボーリング(湖沼上)



図-1-3 露頭剥ぎ取り

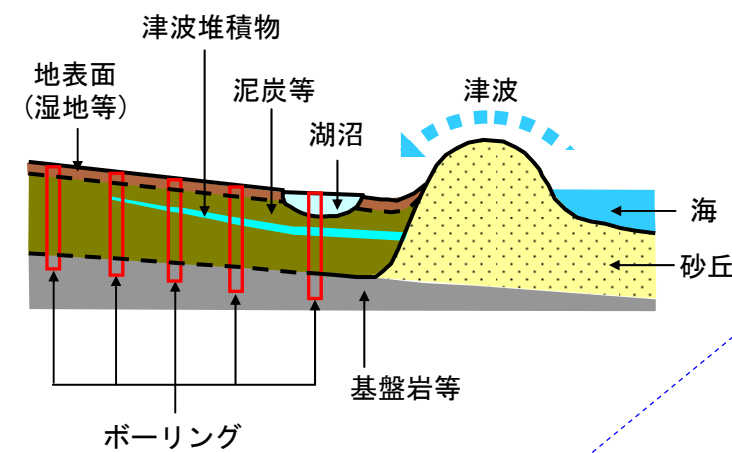


図-2 ボーリング調査地点概念図

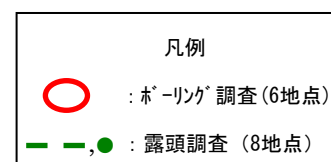


図-3 調査予定地点

